

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401  
 住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12  
 氏 名 株式会社マルエツフレッシュフーズ  
 代表取締役社長  
 安田 良夫

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツフレッシュフーズ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島6-10 かわさきファズ物流センターA棟4F		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	生鮮加工センターにおける食料品の仕入れ、製造、加工及び販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,881	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成29年度 ～ 平成31年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,460 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,537 t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,599 t-CO <sub>2</sub>	(実)	(実) 3,564 t-CO <sub>2</sub>
	(調) 3,406	(調) 3,482	(調) 3,543	(調)	(調)
削減率		(実) -2.2 %	(実) -4.0 %	(実) %	(実) -3.0 %
		(調) -2.2 %	(調) -4.0 %	(調) %	(調) %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	製造パック数		単位	t-CO <sub>2</sub> /百万パック	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	79.18	81.01	85.57		76.80
削減率		-2.3 %	-8.1 %	%	3.0 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	故障により稼動していなかった天井裏の除湿器、搬送ファンを17年7月に修理し、常時稼働するようにしたことが、排出増加につながった。
第2年度	2018年8月に事務所蛍光灯をLEDに切り替えたが、夏季高温の影響が大きく、空調機及び冷蔵設備のエネルギー使用量が多くなり、排出量増加につながった。 また、タコやウナギの価格高騰、またアニサキス報道により、鮮魚の製造パック数が減少した為、原単位の増加率が排出量の増加率より大きくなった。
第3年度	

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--	--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<p>○外部機関の利用等：ISO2000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施していきます。</p> <p>○冷凍機の効率管理：フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施します。例えば、以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで、効率的な運用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷媒ガス漏れの有無</li> <li>・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無</li> <li>・室外機異常の有無（異常振動、異常運転音、油にじみの有無）</li> <li>・室外機周辺の障害物の有無</li> </ul> <p>○空調（事務所内）については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をしてきます。</p>
	第1年度	<p>○外部機関の利用等：ISO2000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施した。</p> <p>○冷凍機の効率管理：フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施した。例えば、以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで、効率的な運用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷媒ガス漏れの有無</li> <li>・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無</li> <li>・室外機異常の有無（異常振動、異常運転音、油にじみの有無）</li> <li>・室外機周辺の障害物の有無</li> </ul> <p>○空調（事務所内）については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をした。</p> <p>○事務所天井照明のLED化を検討</p>
	第2年度	<p>○外部機関の利用等：ISO2000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施した。</p> <p>○冷凍機の効率管理：フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施した。例えば、以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで、効率的な運用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷媒ガス漏れの有無</li> <li>・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無</li> <li>・室外機異常の有無（異常振動、異常運転音、油にじみの有無）</li> <li>・室外機周辺の障害物の有無</li> </ul> <p>○空調（事務所内）については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をした。</p> <p>○2018年8月より、事務所天井照明のLED化を実施。</p> <p>○加工場の天井照明のLED化を検討。</p>
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

## (2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

## ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

現状は、再生可能エネルギー源等を利用する計画はありません。

## イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

## ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

## 4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"><li>○通い箱（クレート）での配送</li><li>○食品トレイの軽薄化</li><li>○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動</li><li>○レジ袋製造に係るCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施</li></ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"><li>○通箱での納品によるダンボール等の使用量・排出量の削減</li><li>○食品トレイの軽薄化</li><li>○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動</li></ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>○通箱での納品によるダンボール等の使用量・排出量の削減</li><li>○食品トレイの軽薄化</li><li>○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動</li></ul>
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,443	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,363	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
M F F川崎事業所	川崎市川崎区東扇島6-10	0999	他に分類されない食品製造業	3,443 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--